



第 5 2 回全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会

2016年10月16日(日)京都府向日町市 向日町競輪場 (周長 400m)

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:公益財団法人 日本自転車競技連盟 / 運営協力:京都府自転車競技連盟

Comuniqué No.4

2016年10月7日

大会総務委員長 北山 一樹

1.大会会場のご案内

公共交通機関のご案内



<http://www.mukomachikeirin.com/access/>から借用した図である。

阪急電車をご利用の場合

阪急電鉄(京都線)「東向日駅」下車。徒歩約15分。

JRをご利用の場合

JR京都線(東海道線)「向日町駅」下車。徒歩約20分。

向日町競輪場へのアクセスは以下のリンクをご参照ください。

<http://www.mukomachikeirin.com/access/>



第 52 回全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会

2016年10月16日(日)京都府向日町市 向日町競輪場(周長 400m)

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:公益財団法人 日本自転車競技連盟 / 運営協力:京都府自転車競技連盟

Comunique No.5

2016年10月7日

大会総務委員長 北山 一樹

2. 駐車場について

車は、下記の案内図のとおり選手、競技役員は場外駐車場に駐車すること。

前日に練習を行う学校も場外駐車場に駐車すること。



3. レース出走者の大会運営への協力義務について

出走する選手は以下の事項に必ず協力すること。

次の走者は、前レース終了時点までに必ず選手待機所で待機すること。

著しく遅れた選手、チームはレースから除外する。

本件についての放送・アナウンスは行わないのでレースの進捗には十分に留意すること。

なお、他の選手と同時にスタート位置につけない場合はスタートを認めない場合がある。

ポイントレースの場合、持ち込む代車についてもバイクチェックが必要である。

4. ゴミ投棄厳禁の徹底

ごみは各学校で絶対に持って帰ること。ごみの投棄が発覚した場合、3,000円/件のペナルティーを科す。



第 52 回全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会

2016年10月16日(日)京都府向日町市 向日町競輪場(周長 400m)

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:公益財団法人 日本自転車競技連盟 / 運営協力:京都府自転車競技連盟

Comunique No.6

2016年10月7日

大会総務委員長 北山 一樹

5.テント設営について

テント設営の際には、しっかりとテントを固定すること。

6.参加校受付について

参加校受付は、大会当日 7:30~8:00 に敢闘門出入口付近で行う。

7.前日の練習について

10月15日(土)13時以降練習は可能であるが、この時間帯に医者・看護師などの医療関係者は配置しておらず、落車などで負傷した場合、医療行為が必要な事故の対処はいたしかねるので、その旨を了承した学校のみ練習を認めるものとする。

8.向日町競輪場の注意点

①検車場は選手待機場所として利用できる。

また、女子の更衣室・トイレは2階トイレを利用できる。

検車場に備え付けのコンプレッサーは使用できない。

②備え付けのローラー台は利用できるが、動かさないこと。



第 52 回全日本学生自転車競技トラック新人戦・西日本大会

2016年10月16日(日)京都府向日町市 向日町競輪場(周長 400m)

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:公益財団法人 日本自転車競技連盟 / 運営協力:京都府自転車競技連盟

Comunique No.7

2016年10月7日

大会総務委員長 北山 一樹

9.その他留意事項など

- ①トラック上にいる間は、競技者は常に自転車をしっかりとコントロール下におき、ハンドル(あるいは延長部)上に少なくとも片手を置いていなければならない。これに違反した競技者には警告を与える。(JCF 規則第 63 条 1 項)
- ②空気抵抗を減じるなど競技者能力に影響をあたえるため、または競技者の身体を強制する(圧迫・引張・支持)の付加的な衣類または物は禁じる。(JCF 規則第 8 条 6 項)
- ③原則としてコミッセールパネルの決定が最終であり、異議申立てをする事はできない。(JCF 規則第 38 条)
- ④パーシュートまたはタイムトライアル種目
スタートしてそれが正しく行われたと認められたなら、コーチとして1名だけがそこに留まることができるが、軽率な応援身振りなどは一切認められない。(JCF 規則第 59 条)
- ⑤ゼッケンを付ける際の安全ピンなどは各大学、または個人で用意すること。
- ⑥ゼッケンはレース終了後に各学校単位でまとめて受付へ返却すること。
紛失、未返却は1枚につき1,000円のペナルティーを科す。
- ⑦ハンドルバー、並びにアタッチメントバーの全ての端面には、バーエンドキャップを装着のこと。
また、安全のためハンドルバーにはバーテープを巻くこと。
- ⑧タイム系種目でフィールド内より指示を与えられるのは、1チーム1名のみとする。
ポイントレースにおいて代車を持ち込む場合の各大学の人員増員を認める。
走路の見通しを確保するため、フィールド内での待機中は座ること。
- ⑨表彰式においてチームユニフォームを着用のこと。サングラス、帽子の着用、サンダル履きは認めない。
- ⑩病気怪我などを理由に欠場する場合は、医師の診断書を当日受付に持参して欠場をする旨を報告すること。正当な理由なき欠場は認めない。参加料と同額のペナルティーを科す。